

3-4 ヨーロッパ史

研究・教育活動の概要と特色

ヨーロッパ史は、法文学部発足当初からの80年余にわたる長い歴史を有し、草創期以来の「厳密な実証研究」の伝統を継承しつつ、多様な問題関心と研究手法に基づいて研究を展開しているところに特色がある。欧米の研究文献の綿密な読解と原典史料の緻密な分析に基づく高度の実証的理論的研究は言うに及ばず、教員が各々国制史、社会経済史、地域社会史、社会史・心性史等、多様な研究方法に基づいて、構想力豊かな質の高い研究成果をあげている。

教育活動については、大学院博士課程を有する研究室として、また大学院重点化大学として、研究者・教育者の養成を第一義としてきた伝統があるが、近年では社会の多方面において活躍できる人材の育成も求められている。従って研究者・教育者養成と同時に、高度な識見と職能を有する専門職業人育成へと連携できるような基礎的知識、そして欧米の歴史と現代世界についての広い視野また深い洞察力を鍛錬していくことを教育方針として、学部学生及び大学院学生の指導・教育にあたっている。研究室の教員、大学院生全員参加の大学院研究例会は、修士論文及び課程博士論文作成予定者の研究報告の場であり、教員・院生の間で、毎回活発な議論が展開されている。着実な不断の努力の積み重ねが本研究室の研究・教育活動の特色である。

組織

1 教員数(2011年9月末現在)

教授：2

准教授：1

講師：0

助教：1

教授：佐藤勝則、小野善彦

准教授：有光秀行

助教：原賢治

2 在学生数（2011年9月末現在）

学部 (2年次以上)	学部 研究生	大学院博士 前期	大学院博士 後期	大学院 研究生
41	0	9	8	1

3 修了生・卒業生数（2007～2011年度）

年度	学部卒業生	大学院博士課程 前期修了者	大学院博士課程 後期修了者 (含満期退学者)
07	16	3	3
08	15	4	0
09	11	2	2
10	7	3	1
11	1	0	0
計	56	12	6

* 2011年度は、9月末までの数字

過去5年間の組織としての研究・教育活動（2007～2011年度）

1 博士学位授与

1-1 課程博士・論文博士授与件数

年度	課程博士授与件数	論文博士授与件数	計
07	1	1	2
08	0	0	0
09	3	1	4
10	1	0	1
11	0	0	0
計	5	2	7

* 2011年度は、9月末までの数字

1-2 博士論文提出者氏名、年度、題目、審査委員

新保良明、2007年度、『古代ローマ帝政前期における帝国官僚と都市に関する研究』

審査委員：教授・松本宣郎(主査)、教授・佐藤勝則、教授・尾崎彰宏

原賢治、2007年度、『ヘレニズム期ロドスにおける社会変容』

審査委員：教授・松本宣郎(主査)、教授・佐藤勝則、教授・小野善彦、准教授・有光秀行、准教授・芳賀京子

津田拓郎、2009年度、『カロリング期フランク王国の統治構造の研究 カピトゥラリア，王国教会，教会会議』

審査委員：教授・小野善彦(主査)、教授・佐藤勝則、准教授・有光秀行、准教授・木村敏明

有光秀行、2009年度、『11～13世紀「ブリテン諸島」におけるネイションの諸相』

審査委員：教授・小野善彦(主査)、教授・佐藤勝則、教授・大河内昌

日浦涉、2009年度、『連合期におけるイギリス＝アイルランド財務関係と自治問題』

審査委員：教授・佐藤勝則(主査)、教授・小野善彦、教授・大河内昌、准教授・有光秀行

渡邊竜太、2009年度、『1920年代後半チェコスロヴァキアにおけるドイツ人社会民主党と地方自治行政』

審査委員：教授・佐藤勝則(主査)、教授・小野善彦、教授・吉原直樹、准教授・有光秀行

永本哲也、2010年度、『1525-1534年ミュンスター宗教改革・再洗礼派運動 都市社会運動の総体把握の試み』

審査委員：教授・小野善彦(主査)、教授・佐藤勝則、教授・佐藤嘉倫、准教授・有光秀行

2 大学院生等による論文発表

2-1 論文数

年度	審査制学術誌 (学会誌等)	非審査制誌 (紀要等)	論文集 (単行本)	その他	計
07	1	0	0	2	3
08	4	0	0	0	4
09	1	0	1	0	2
10	2	0	0	0	2
11	2	0	0	0	2
計	10	0	1	2	13

* 2011年度は9月末までの数字。ただし、以後の掲載が決定しているものも含む。

2-2 口頭発表数

年度	国際学会	国内学会	研究会	その他	計
07	0	5	0	0	5
08	0	4	4	0	8
09	1	4	5	0	10
10	1	7	1	0	9
11	0	2	1	0	3
計	2	22	11	0	35

* 2011年度は9月末までの数字。ただし、以後の発表が決定しているものも含む。

2-3 上記の大学院生等による論文・口頭発表の中の主要業績

(1) 論文

赤井悠三「1960年代アメリカにおけるポップカルチャーと社会批判 初期のボブ・ディランを手がかりに」, 『歴史』第109輯, pp.135-150, 2007.

大谷哲「初期キリスト教殉教神学の成立と起源」, 松本宣郎編『ヨーロッパ古代史論集』, 東北大学ヨーロッパ史研究室, pp.62-75, 2008.

大谷哲「初期キリスト教における殉教神学の形成」, 『歴史』第111輯, 左1-24, 2008.

大谷哲「帝政初期ローマ公法廷における聴衆の影響力 “サクラ” の検証を中心として」, 『史鏡』第58号, pp.85-145, 2009.

大谷哲「使徒ヨハネ伝承に見る殉教者概念の変遷」, 『Studia Classica』第2巻, pp.97-126, 2011.

杵淵文夫「第一次大戦前後のF.ナウマンの中欧思想 歴史意識と民族問題」, 『文化』, 2007-2008.

小坂俊介「カルケドン裁判考」, 『歴史』第116輯, pp.1-30, 2011.

武田佑太「第一次大戦前カリブ海植民地における製糖産業の再編とフランス系銀行 クアドループを中心に」, 『歴史』第112輯, 左1-26, 2009.

武田佑太「19世紀後半の通商条約体制下におけるフランスの貿易構造(1852-76年)」, 『西洋史研究』新輯第38号, pp.27-54, 2009.

永本哲也「宗教改革期ミュンスターの社会運動(1525-35年)と都市共同体 運動の社会構造分析を中心に」, 『西洋史研究』新輯第37号, pp.86-117, 2008.

永本哲也「ミュンスター宗教改革運動における市参事会の教会政策 1525~34年 市内外諸勢力との交渉分析を通じて」, 『歴史学研究』第876号, pp.20-36, 2011年

原賢治「ヘレニズム期ロドスにおける海軍と社会 漕手の分析を中心に」, 松本宣郎編『ヨーロッパ古代史論集』, 東北大学ヨーロッパ史研究室, pp.34-46, 2008.

日浦渉「アイルランド自治問題と連邦構想」『比較連邦史研究』多賀出版, 2009.
府中望「十八世紀フランス地方救貧行政の構造 マルセイユの救貧行政を中心に」『歴史』第 111 輯, 左 25-55, 2008.

細谷要「第一次世界大戦前・後におけるドイツ中央党の政策転換 M. エルツベルガーの国防・財政政策を中心に」, 『西洋史研究』新輯第 36 号, pp.63-91, 2007.

細谷要「第一次世界大戦後のエルツベルガー財政改革の理念(1919-20 年) 公正な課税原則と連邦主義的観点」, 『歴史』第 116 輯, 左 1-25, 2011.

(2) 口頭発表

杵淵文夫「第一次世界大戦とフリードリヒ・ナウマンの中欧構想 「経済国家」の分析を中心に」, 社会経済史学会全国大会, 創価大学, 2007 年 5 月 26 日.

津田拓郎「ルートヴィヒドイツ人王時代の「集会」の果たす役割について 教育改革研究の手がりとして」, 日本西洋史学会, 新潟大学, 2007 年 6 月 17 日.

永本哲也「1525-1535 年ミュンスターにおける社会運動支持者の社会階層」, 日本西洋史学会, 新潟大学, 2007 年 6 月 17 日.

府中望「18 世紀フランスにおける王権と総合救貧院 マルセイユ愛徳総合救貧院の事例を通して」, 日本西洋史学会, 新潟大学, 2007 年 6 月 17 日.

細谷要「第一次世界大戦前・後におけるドイツ中央党の国防政策 M. エルツベルガーの見解を中心に」, 日本西洋史学会, 新潟大学, 2007 年 6 月 17 日.

大谷哲「帝政初期ローマ公法廷における聴衆の影響力」, 歴史人類学会第 29 回大会, 筑波大学, 2008 年 11 月 8 日.

杵淵文夫「第一次大戦期 F.ナウマンの中欧構想 「経済国家」の社会政策的側面の分析を中心に」ドイツ資本主義研究会 ADWG, 専修大学, 2008 年 12 月 14 日.

武田佑太「19 世紀末大不況下におけるラテン通貨同盟と金銀複本位制」, 政治経済学・経済史学会 2008 年度秋季学術大会, 大東文化大学, 2008 年 10 月 25

日 .

武田佑太「フランス対外商品・金銀取引とラテン通貨同盟(1865-74年)」, 第13回
社会経済史学会東北部会, 東北大学, 2008年12月20日 .

永本哲也「1525-35年におけるミュンスターの社会運動と共同体への帰属意識」,
東北学院大学オープン・リサーチ・センター2008年度合同研究会, 東北学院
大学, 2008年8月30日 .

永本哲也「1525-34年ミュンスター宗教改革における市参事会の役割意識と態度決
定」, 歴史学研究会ヨーロッパ中近世史合同部会, 早稲田大学, 2009年1月
11日 .

日浦渉「19世紀後半における英愛財政関係と自治問題」, 2008年度西洋史研究会
大会, 東北大学, 2008年11月22日 .

府中望「フランス近世都市の権力秩序 マルセイユ市政を通じて」, 2008年度
西洋史研究会大会, 東北大学, 2008年11月22日 .

大谷哲「初期キリスト教の多様な迫害対応策: 一帰結としての殉教者称揚(何故初
期切れるキリスト教徒は殉教者制度を形成したのか?)」東北学院大学オープン・リ
サーチ・センター 4月研究例会, 東北学院大学土樋キャンパス, 2009年4
月27日

武蔵貴弘「12、13世紀イングランド北部の貴族社会 イングランドとスコットラ
ンド、両王権間における de Vesey 家の事例から」, 東北学院大学オープン・
リサーチ・センター2009年度合同研究会, 東北学院大学, 2009年8月28日 .

Satoshi OHTANI, "For Whom Was the Concept of Martyrdom Created?", Asia-Pacific
Early Christian Studies Society 5th Annual Conference, Tohoku Gakuin University,
2009年9月10日

大谷哲「初期キリスト教徒における“上訴権”行使」東北史学会2009年度大会,
東北大学, 2009年10月4日

武田佑太「19世紀後半の通商条約体制下におけるフランスの貿易構造と本位制度
問題」フランス経済史研究会、専修大学神田キャンパス, 2009年11月21日

永本哲也「宗教改革期(1525-34年)ミュンスターにおける社会運動と統治制度」
東北学院大学オープン・リサーチ・センター研究会例会, 東北学院大学, 2009
年11月27日

永本哲也「宗教改革期(1525-34年)ミュンスターにおける宗教改革と市民層」宗
教改革史研究会, 早稲田大学, 2010年1月30日

Satoshi OHTANI, "The death and martyrdom of Apostle John", in, The Sixth international

Triennial Conference of the Centre for Early Christian Studies, incorporating The Asia-Pacific Christian Studies Society, St. Patrick's Campus, Australian Catholic University, Melbourne, Australia 2010年7月

小坂俊介「カルケドン裁判考」, 東北学院大学オープン・リサーチ・センター2010年度合同研究会, 東北学院大学, 2010年8月26日.

杵淵文夫「キリスト教社会派期におけるフリードリヒ・ナウマンの社会思想」, 2010年度西洋史研究会大会, 東北大学, 2010年11月20日.

大谷哲「名前を抹消された殉教者たち: 初期キリスト教における教会内政治」, 日本西洋史学会第61回大会, 日本大学, 2011年5月15日.

大谷哲「ローマ帝政後期の教会における権力一元化の試み: カノン法に現れる司教と告白者の関係」, 東北学院大学オープン・リサーチ・センター2011年度合同研究会, 東北学院大学, 2011年8月25日.

3 大学院生・学部生等の受賞状況

なし

4 日本学術振興会研究員採択状況

2007年度 DC採用 1人

2010年度 DC採用 1人

5 留学・留学生受け入れ

5-1 大学院生・学部学生等の留学数

年度	学部	大学院	計
07	1	0	1
08	0	0	0
09	0	0	0
10	1	0	1
11	0	1	1
計	2	1	3

5-2 留学生の受け入れ状況(学部・大学院)

年度	学部	大学院	計
07	0	0	0
08	0	0	0
09	0	0	0

10	0	0	0
11	0	0	0
計	0	0	0

6 社会人大学院生の受け入れ数

年度	前期課程	後期課程	計
07	0	0	0
08	0	0	0
09	1	0	1
10	1	0	1
11	0	0	0
計	2	0	2

7 専攻分野出身の研究者・高度職業人

7-1 専攻分野出身の研究者

なし

7-2 専攻分野出身の高度職業人

中高教員 3名

ジャーナリスト 2名

8 客員研究員の受け入れ状況

なし

9 外国人研究者の受け入れ状況

2008年4月1日 25日 デイヴィド・ロラソン (David Rollason) 連合王国ダラム大学教授 (日本学術振興会招聘研究者 (短期)、受入研究者: 有光秀行)

10 刊行物

『西洋史研究』 (年刊) 新輯第36号 (2007) ~ 新輯第39号 (2010)

11 学会・研究会・講演会・シンポジウム等の開催・事務局等引き受け状況

学会開催

2007年11月24日,25日 西洋史研究会大会開催 国内学会

2008年11月22日,23日 西洋史研究会大会開催 国内学会
2009年11月14日,15日 西洋史研究会大会開催 国内学会
2010年11月20日,21日 西洋史研究会大会開催 国内学会

学会事務局

西洋史研究会（国内学会）事務局

講演会開催

なし

1.2 専攻分野主催の研究会等活動状況

大学院生研究例会

博士論文予備審査会

2008年1月30日

2009年5月30日

2009年12月25日

修士論文構想発表会

2007年7月7日

2008年7月26日

2009年7月18日、25日

2009年9月24日

2010年9月21日

2011年9月10日、12日、13日

講演会

2008年4月11日 デイヴィド・ロラソン「ダラム司教座聖堂：北部イングランドの聖職者集団とノルマン征服」

2008年4月12日 デイヴィド・ロラソン「初期中世の国王宮廷：権力の表象と実態」

1.3 組織としての研究・教育活動に関する過去5年間の自己点検と評価

ヨーロッパ史研究室は、全国学会「西洋史研究会」の主催校として西洋史の専門研究雑誌『西洋史研究』新輯号の年一回の刊行と学会開催（仙台と東京）を軸に研究活動を推進してきた。

研究雑誌『西洋史研究』の紹介文のジャンルでは、博士前期課程1年次が海外の研究書の紹介文を継続的に執筆掲載してきた。また学会シンポジウムの討論部分の録音テー

ブを活字にする作業を大学院学生が率先しておこなうことで、学問的討論の仕方を学ぶ機会としてきた。

日常的な研究・教育活動の場として、7月ないし9月に修士論文執筆予定者が研究報告を行う大学院研究例会を毎年開催、また博士学位論文執筆者には学位論文予備審査会を開催し、大学院学生と教員スタッフ全員がこれに参加してきた。予備審査会は過去5年間に3回開催され、うち3名に学位が授与されている。さらに大学院博士前期課程進学者は、『西洋史研究』への紹介文の執筆だけでなく、毎年10月初旬開催の東北史学会西洋史部会で自由論題報告を行ってきた。

大学院ならびに学部学生の教育のためには、集中講義講師の招聘が継続的に行われてきたほか、研究室予算を有効に使って内外の研究者の講演会なども開催されてきた。過去5年間で学位取得者は従来どおりだが、学術振興会特別研究員への採用件数、研究機関への就職状況については、このところ停滞ぎみである。

教員の研究活動（2007～2011年度）

1 教員による論文発表等

1-1 論文

松本宣郎『イタリア古代史』2006年度科学研究費研究成果報告書，84pp.，2007

松本宣郎「ローマとイタリアの初期キリスト教」平成16-18年度科学研究費特定領域研究A-02「カンパニア地方の都市とヴィッラ集落をめぐる社会史的研究(代表本村凌二)中間報告書，pp.22-33，2007.

松本宣郎「ローマ市の初期キリスト教」(阪本浩・小野善彦・鶴島博和編『ソシアビリテの歴史的諸相』南窓社，pp.97-115，2008.

松本宣郎「ローマ帝国のキリスト教 - 哲学者とキリスト教徒 - 」(『東北学院大学キリスト教文化研究所紀要』26，pp.1-29，2008.

佐藤勝則「ヨーロッパにおける宗教と寛容 カトリック文化圏の信仰・造形資料を手がかりに」『東北学院大学オープン・リサーチ・センター研究プロジェクト報告書』II，pp.205-230，2009.

佐藤勝則「ハプスブルク帝国統治と歴史意識 ウィーンの宝物・秘蔵造形資料を手がかりに」『東北学院大学オープン・リサーチ・センター研究プロジェクト報告書』II，pp.450-460，2009.

Masanori SATO, Ost und West in der Zwischenkriegszeit, in, Seiyoshikenkyu NF Nr. 36, S.99-120, 2009.

小野善彦「宗派形成初期南ドイツの都市教会と農村教区」，東北学院大学オープ

- ンリサーチセンター『ヨーロッパ・グローバリゼーションと諸文化圏の変容』, pp.289-300, 2009.
- 小野善彦「宗派形成初期上バイエルンの都市・マルクト教会 農村教区教会からの「解放」をめぐって」『東北大学文学研究科研究年報』第 59 号 ,pp.204-187, 2010.
- 有光秀行「島のソシアビリテ」, 阪本浩・鶴島博和・小野善彦編『ソシアビリテの歴史的諸相』, 南窓社, pp.135-148, 2008
- Hideyuki ARIMITSU, 'The Libermann Library in Tokyo', S. Jurasinski et al. (eds), *English Law Before Magna Carta*, Brill, pp. 27-40, 2010.
- Hideyuki ARIMITSU, 'Memories and communications in the medieval Irish Sea World', *East-Asian Journal of British History*, vol. 1, pp. 45-51, 2011.
- 有光秀行「続・ネイション・アドレス考」, 『文化』第 74 巻 3・4号, 2011 (掲載決定)

1- 2 著書・編著

- 松本宣郎他編『文献解説・ヨーロッパの成立と発展』南窓社, 270pp., 2007.
- 松本宣郎編著『ヨーロッパ古代史論集』東北大学大学院文学研究科ヨーロッパ史研究室, 135p., 2008.
- 松本宣郎編『西洋古代史の諸問題 - 西洋史研究会共通論題 1977 年 ~ 2005 年』東北大学・西洋史研究会, 479p., 2008.
- 佐藤勝則『比較連邦制史の研究 - 科学研究費研究成果報告書 - 』（編著）, 共同印刷, 2007.
- 佐藤勝則『南チロルの旅』, 共同印刷, 2007.
- 佐藤勝則『誓約同盟スイス紀行』, 共同印刷, 2007.
- 佐藤勝則『中欧多民族帝国の歴史と精神』, 共同印刷, 2008.
- 佐藤勝則『中欧のミューズの女神』, 共同印刷, 2008.
- 佐藤勝則編著『比較連邦制史研究』, 多賀出版, 2009.
- 小野善彦他編著『ソシアビリテの歴史的諸相』, 南窓社, 2008.

1- 3 翻訳、書評、解説、辞典項目等

- 松本宣郎（井上文則・田中創）A.K.Bowman et al. eds., *The Cambridge Ancient History*, second edition, Vol.XII,Cmbridge U.P.2005. 『西洋古典学研究』第 55 号, pp.154-158, 2007

- 松本宣郎「弓削先生の思い出」『かいほう』91（古代世界研究会），2007
- 松本宣郎「学問とは孤独な労働である - 吉岡教授語録 - 」 研究室の金言・名言
ヨーロッパ史研究室から 『考えるということ』東北大学文学部ブックレット
Vol.1,2007-3.
- 有光秀行「2006年の歴史学界・回顧と展望・ヨーロッパ(中世 イギリス)」『史
学雑誌』116-5，2007.
- 有光秀行「ウェイルズ中世史料にみるネイション呼称、およびウェイルズ教会史
の概略」『中世ブリティッシュ・ヒストリーの射程と可能性』，平成 16～19
年度科学研究費補助金（基盤研究(B)，研究代表者・鶴島博和）研究成果報告
書，2008.
- 有光秀行「翻訳 ブローナ・ニー・コネル著，革新，論争と法学 『ハウエルの
法 Cyfraith Hywel』と中世ウェールズ」『関大西洋史論叢』第 11 号，2008.
- 有光秀行「シンポジウム『リテラシー研究の最前線 西欧中世史から』につい
てのコメント」『西欧中世文書の史料論的研究』平成 20 年度科学研究費補助
金（基盤研究(B)，研究代表者・岡崎敦）研究成果報告書，2009.
- 有光秀行「翻訳 デイヴィド・ロラソン著，初期中世における王宮 権力の表象
と実態 」『歴史』第 113 輯，2009.
- 有光秀行「『中世盛期における領邦君主の文書と文書局』についてのコメント」
『西欧中世文書の史料論的研究』平成 21 年度科学研究費補助金(基盤研究(B)，
研究代表者・岡崎敦)研究成果報告書，2010.
- 有光秀行「『中世マン島と諸島王国史』再考」，『ヨーロッパ・グローバリゼ
ーションと諸文化圏の変容：研究プロジェクト報告書 III』東北学院大学オー
プン・リサーチセンター，2010.
- 有光秀行「史実と虚構のはざまを駆けるロビン・フッド」，映画『ロビン・フ
ッド』プレスシート（ページ記載なし），2010.
- 有光秀行「ロビン・フッドについて」「映画に出てくる人物たち」、映画『ロビ
ン・フッド』パンフレット（ページ記載なし），2010.
- 有光秀行「Hirokazu TSURUSHIMA (ed.), *Nations in Medieval Britain*」『西洋中世研
究』2，pp. 216-217, 2010.
- 有光秀行「P. J. ギアリ、鈴木道也・小川知幸・長谷川宜之訳『ネイションとい
う神話 ヨーロッパ諸国家の中世的起源 』』『歴史』第 116 輯，pp. 129-131,
2011.
- 有光秀行「ヘンリエッタ・レイザー「文化の類縁性」『オックスフォード・ブリ

『テン諸島の歴史』第4巻、バーバラ・ハーヴェイ編、吉武憲司監訳、
2012年始刊行予定

原賢治他訳「スエトニウス『文法家・修辞家列伝』」『Studia Classica』第2巻、
pp.253-278, 2011.

1-4 口頭発表

(1) 国際学会

Masanori SATO, Der österreichische Botaniker Hans Molisch in Sendai, 2009年7月4日
Masanori SATO, Dichter SAITO Mokichi und Demokrat YOSHINO Sakuzo in Wien,
2009年7月5日

Hideyuki ARIMITSU, 'Liebermann in Tokyo', Early English Law Conference, Institute of
Historical research, London, 2008年7月16日

Hideyuki ARIMITSU, Comment on Section One, The Third Japanese-Corean Conference
of British History, Chonnam National University, Gwangju, South Korea, 2008年11
月13日

Hideyuki ARIMITSU, 'Memories and communications in the medieval Irish Sea World',
The Fourth Japanese-Corean Conference of British History, 熊本大学, 2010年11月
13日

(2) 国内学会

松本宣郎「初期キリスト教の周縁部」歴史学研究会大会合同部会「生成される宗
教的《境界》」パネリスト, 東京大学教養学部, 2007年6月3日

松本宣郎「初期キリスト教徒迫害史と哲学者たち」東北哲学会 2007年度大会公開
講演, 東北大学大学院文学研究科, 2007年10月21日

松本宣郎「ローマ帝国におけるキリスト教徒」東北学院大学キリスト教文化研究
所公開講演, 2007年11月29日

佐藤勝則「現代連邦制の世界史的位相 解体と統合の諸相」, 2009年度西洋史
研究会共通論題問題提起, 東北大学, 2009年11月23日

佐藤勝則「西洋史像の再構築 『比較連邦制史研究』を手がかりに」, 2010年
度西洋史研究会共通論題問題提起, 東北大学, 2010年11月21日

有光秀行「ウェールズのネーションとネーション・アドレス論の現状と展望」、
2007年度日本西洋史学会・ミニシンポジウム「中世ブリテンにおけるネイシ
ョンの諸相」, 新潟大学, 2007年6月17日

原賢治「ヘレニズム期口ロスにおける市民と外国人 plēthos の解釈を手がかりに」, 2010 年度西洋史研究会大会, 東北大学, 2010 年 11 月 20 日

(3) 研究会

有光秀行「島のソシアビリテ」、西欧中世史研究会、沖縄、2007 年 8 月 29 日、および中世ブリティッシュヒストリー研究会、北海学園大学、2007 年 9 月 4 日

有光秀行「*Pastoral Care before the Parish* ch.3 の検討」、中世ブリティッシュヒストリー研究会、大阪大学、2008 年 9 月 17 日

有光秀行「Liebermann in Tokyo」、イギリス中世史研究会、早稲田大学、2009 年 6 月 15 日

有光秀行「最近の『マン島と諸島の王国』史研究の動向」、西欧中世史研究会、大分、2010 年 5 月 28 日

2 教員の受賞歴 (2007 ~ 2011 年度)

なし

教員による競争的資金獲得 (2007 ~ 2011 年度)

(1) 科学研究費補助金

2004 ~ 2009 年度 科学研究費補助金特定領域研究 松本宣郎 (研究分担者) 「古代カンパニア地方の都市とヴィッラ集落をめぐる社会史的研究」(代表者: 本村凌二東京大学大学院総合文化研究科教授) 10,000 千円 (17 年度)

2006 ~ 2007 年度 科学研究費補助金: 基盤研究 (C) 松本宣郎 (研究代表者) 「古代ローマ市における初期キリスト教の地誌的・政治史的研究」3,200 千円 (2 年間総額)

2006 ~ 2007 年度 科学研究費補助金: 萌芽研究 佐藤勝則 (研究代表者) 「ヨーロッパ・アルプスにおける空間秩序意識の形成に関する地域総合研究」

2009 年度 日本学術振興会学術図書出版助成金 佐藤勝則 1,500 千円

2004 ~ 2007 年度 科学研究費補助金: 基盤研究 (B) 有光秀行 (研究分担者) 「中世ブリティッシュ・ヒストリーの可能性と射程」(研究代表者・鶴島博和)

2007 ~ 2008 年度 科学研究費補助金: 基盤研究 (C) 有光秀行 (研究代表者) 「『ネイション・アドレス』論の最終構築」、3,640 千円 (2 年総額)

2008 ~ 2011 年度 科学研究費補助金: 基盤研究 (B) 有光秀行 (連携研究者) 「西欧中世文書の史料論的研究」(研究分担者・岡崎敦)

2010～2012年度 科学研究費補助金：基盤研究(C) 有光秀行(研究代表者)「『リバーマン文庫』研究」、1,300千円(2010年度)、910千円(2011年度)

(2) その他

なし

教員による社会貢献(2007～2011年度)

松本宣郎

市民講座：

「ポンペイ最後の日 - よみがえった古代ローマ帝国の都市 - 」「古代地中海世界の社会史」NHK文化センター仙台総支社(2003年度より継続、毎月2回)

「古代のキリスト教徒たち」 仙台YWCAキリスト教短期講座。2007年1月25日, 2月1,8,15日

研修会講師：

「私の信仰と学問」東北学院中学高等学校教員研修会, 2007年7月30日

佐藤勝則

仙台日本オーストリア協会理事

宮城ハンガリー友好協会理事

河北TBCカルチャーセンター講師

講演「ハプスブルク家の精華 ウィーン美術史博物館の全貌」宮城県美術館, 2008年12月

小野善彦

東北大学文学部オープンキャンパス公開講義, 2008年7月31日

東北学院大学公開講演会『新しい世界の始まりと宗教改革』, 2008年12月6日

みやぎ県民大学, 2011年9月16日

有光秀行

NHK文化センター(仙台)講師, 2008年～

東北大学文学部オープンキャンパス公開講義, 2009年7月31日

東北学院大学オープン・リサーチ・センター公開シンポジウム「北海からアイリッシュ海へ」講演(3), 2010年3月13日

教員による学会役員等の引き受け状況（2007～2011年度）

松本宣郎

大学基準協会基準委員会委員（平成15～17年度）
日本学術振興会審査委員（平成16～17年度、19年度）
日本西洋古典学会委員・編集委員・書評委員(継続)
日本基督教学会理事(同上)
史学会評議員（同上）
西洋史研究会代表理事（同上）
宮城学院評議員（平成15年度から）
尚綱学院評議員（平成16年度から）

佐藤勝則

政治経済学・経済史学会理事（旧土地制度史学会）評議員(2009年，2010年)
社会経済史学会評議員
西洋史研究会代表理事
東北史学会会長(2009年～2011年)
日本学術振興会科学研究費配分委員（2008年、2009年）
大学評価学位授与機構評価委員(2009年，2010年)

小野善彦

西洋史研究会理事
東北史学会評議員

有光秀行

西洋史研究会理事
東北史学会評議員（2009年から）
東北史学会理事（2009年まで）

教員の教育活動

（1）学内授業担当（2011年度）

1 大学院授業担当

佐藤勝則教授

1学期	欧米近現代史研究演習	西洋世界史像の再構築
2学期	欧米近現代史研究演習	西洋世界史像の再構築
2学期	欧米近現代史特論	比較連邦制史研究

1 学期	欧米近現代史研究演習	ヨーロッパ連邦制史
2 学期	欧米近現代史研究演習	ヨーロッパ統合史
通年	課題研究	

小野善彦教授

1 学期	西洋中近世史研究演習	西洋中世史の諸問題
1 学期	西洋中近世史研究演習	西欧近世の宗教・社会・国家
2 学期	西洋中近世史研究演習	西洋中世史の諸問題
2 学期	西洋中近世史研究演習	西欧近世の宗教・社会・国家
2 学期	西洋中近世史特論	西洋近世史の諸問題
通年	課題研究	

有光秀行准教授

1 学期	西洋中近世史研究演習 I	中世ヨーロッパ史研究
2 学期	西洋中近世史研究演習	中世ヨーロッパ史研究
1 学期	西洋中近世史研究演習	ヨーロッパ中世史料研究
2 学期	西洋中近世史研究演習	ヨーロッパ中世史料研究
通年	課題研究	

2 学部授業担当

佐藤勝則教授

第 3 セメスター	ヨーロッパ史基礎講読	近現代史独語文献講読
第 4 セメスター	ヨーロッパ史基礎講読	近現代史独語文献講読
第 5 セメスター	ヨーロッパ史各論	比較連邦制史
第 5 セメスター	ヨーロッパ史演習	近現代史英語文献演習
第 6 セメスター	ヨーロッパ史演習	近現代史英語文献演習

小野善彦教授

第 3 セメスター	ヨーロッパ史基礎講読	英語文献講読
第 4 セメスター	ヨーロッパ史基礎講読	英語文献講読
第 5 セメスター	ヨーロッパ史各論	西洋近世史の諸問題
第 5 セメスター	ヨーロッパ史演習	西欧近世の宗教・社会・国家
第 6 セメスター	ヨーロッパ史演習	西欧近世の宗教・社会・国家

有光秀行准教授

第 3 セメスター	ヨーロッパ史概論	中世から考えるヨーロッパ史(1)
第 4 セメスター	ヨーロッパ史概論	中世から考えるヨーロッパ史(2)

- 第3 セメスター ヨーロッパ史基礎講読 フランス語文献精読
第4 セメスター ヨーロッパ史基礎講読 フランス語文献精読
第5 セメスター ヨーロッパ史演習 中世ヨーロッパ史研究
第6 セメスター ヨーロッパ史演習 中世ヨーロッパ史研究

3 共通科目・全学科目授業担当

全学教育科目

佐藤勝則教授

第4 セメスター 人文社会科学総合 史学概論

(2) 他大学への出講(2007~2011年度)

佐藤勝則教授

放送大学(宮城学習センター)「ヨーロッパ統合の歴史的源流」, 2007年.

岩手大学人文社会科学部「統合ヨーロッパとハプスブルク帝国」, 2007年.

宮城教育大学教育学部「外国史概論」2008年.

宮城教育大学教育学部「史学概論」2008年.

東北学院大学大学院文学研究科「ヨーロッパ文化史概論」2009年.

宮城教育大学教育学部「外国史概論」「史学概論」2009年~2010年.

東北学院大学大学院文学研究科「ヨーロッパ文化史概論」2010年.

有光秀行准教授

東北学院大学大学院文学研究科「ヨーロッパ文化史概論」2011年4月から.

原賢治助教

東北学院大学文学部「ギリシア・ローマ文化論」2010年~2011年